

としょかん生活

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館（さよう文化情報センター内）

〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地

開館時間10:00～18:00

Tel: 0790-82-0874 Fax: 0790-82-0313 E-Mail: toshokan@town.sayo.lg.jp

『変わり者たちの秘密基地国立民族学博物館』

ミンパクチャン／著(CEメディアハウス)2025年

Book Review

図書館司書おすすめの一冊

大阪、万博記念公園の敷地内にある国立民族学博物館、通称「民博」。民族学と文化人類学の国際研究拠点であり大学院の機能をもつ博物館である。50人以上の研究者が所属し、世界中から集めてきた生活や儀式などで使う物が34万点以上所蔵されている。そんな民博のファンである著者が、変わり者揃いのそこで働く人々取材した。

島村一平先生は、モンゴルのシャーマン、ヒップホップを研究している。テレビ番組の制作会社で働いた時、取材で訪れたモンゴルに惹かれ、仕事を辞め研究者となった。川瀬慈先生は、エチオピアで吟遊詩人を研究している。江戸時代から続くお寺の子どもで、田舎の人間関係やしがらみから逃れたくて大学に進学し、そこで出会ったパンクロックを続けるため、大学院へと進む。教授に言われ音楽研究のため行ったエチオピアで、故郷より濃厚な人間関係に再び出会うことになる。

他にも、ボクサーで文化人類学者、全盲の触文化学者、産休・育休を経て民博へ移ったマンドラゴラ柄の服を着る比較文学比較文化学者など7人の、研究を始めた経緯や民博で働くきっかけが軽快な文章で綴られ興味をひかれる。また、収蔵庫や広報誌を発行している職員なども紹介されている。魅力的な人達が作り出している常設展示会場を一周するには5キロにもおよび、「スニーカーで行くことを忘れずに」という著者の言葉に従い民博を訪れたい一冊。(馬場)

シリーズ図書館探検① 「借り方、返し方」

図書館は、開館して今年25年を迎えました。改めて図書館でどんなことができるかを「シリーズ図書館探検」と題して紹介します。

第1回目は、基本の借り方、返し方です。まず、借りるには、利用カードを作ってください。登録申込書に必要事項を記入し、住所確認できるもの、マイナンバーカードや免許証などをお見せください。作成は無料です。借りたい資料(本や雑誌、CDなど)が決まれば、利用カードと一緒にカウンターに出してください。資料は、10点まで2週間借りられます。カードは、本人しか使えません。忘れた時はその旨を職員へお知らせください。

次に、返す時は、借りられた資料をカウンターへ「返します」と置いてください。続けて借りたい場合は、他の方の予約がなければ2週間延長できるのでお申し出ください。延長は、電話でも可能です。図書館が閉館している時は、情報センターの入り口横の返却口へお入れください。翌朝回収し、返却手続きをします。また、各支所、出張所の窓口でも返却ができます。回収には時間がかかることがあり、来館された際に返却確認する場合がありますがご了承ください。支所への返却は、窓口の開いている月から金曜日の8時30分から17時です。

図書館カレンダー

1月 睦月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月 如月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

■は休館です

開館時間／午前10時から午後6時

絵本

『ゆうかなアイリーン』

ウィリアム・スタイグ／作
おがわ えつこ／訳
(セーラー出版) 1988年

雪の日、風邪をひいたお母さんの代わりに、お屋敷の奥様に仕立てたドレスを届けに行くことになったアイリーン。お母さんを寝かしつけ、ストーブには薪をどっさりくべて出発します。今夜の

パーティーまでに、ドレスを届けなければならぬからです。しだいに強くなる吹雪の中、アイリーンは風に文句を言いながら進みます。しかし、ドレスの入った箱を落としてしまい、中のドレスは風に舞い、飛んで行ってしまいます。ドレスをなくしたことを奥様に説明しないとイケないと、アイリーンはお屋敷にむかいますが、滑って足首をひねるし、日は暮れ、道もわからなくなってしまいました。やっとお屋敷の明かりを見つけますが、崖から滑り落ち、雪に埋もれてしまいます。くじけそうになった時、思い浮かべたのは大好きなお母さんでした。アイリーンはお母さんののにおいを思い出し、立ち上がります。そしてドレスが入っていた箱をそりにして崖を下ることを思いつきます。

アイリーンの明るくたくましい様子が表情豊かに描かれ、お母さんを気づかう思いやりや、困難に負けない心はさすがしく、惹きこまれます。
(秋山)

児童書

『みにくいおひめさま』

フィリス＝マッギンリー／さく
まさき るりこ／やく
なががわ そうや／え
(瑞雲舎) 2009年

昔、ある王国にエスメラルダという一人娘の王女がいました。お金持ちの王様とやさしい王妃に愛され、何不自由のない暮らしをしていましたが、残念

なことに王女は国中の人がなげくほど、美しくありませんでした。あまやかされて育ち、自分ほどえらいものはいないと思うようになった王女の鼻は、ツンと上を向き、口はへの字に曲がり、目には輝きがありません。

8歳の誕生パーティーの日、婚約者である隣国の王子に、アヒル番の子のほうが好きだと言われた王女は、悔しがって一晩中泣き続けました。困った王様は、醜い娘を美しい娘に変えることができる魔術師を探そうと新聞に懸賞広告をだします。一週間過ぎたころ、グッドウィット夫人という普通の女の人がお城にやってきました。夫を亡くしてから5人の娘を一人で育てている夫人は、王女が自分の家に来て、9か月間一緒に暮らすことを条件に王女を美しくかえると言います。王女は夫人の小さなみすぼらしい家に住むことになりました。

自分の境遇を嘆き、癪癪をおこしていた王女が、自分を特別扱いたくない夫人や子どもたちと生活していくうちに、人を愛することや自分で何かをする喜びを知って成長し、次第に美しくなっていく様子に胸があたたまります。(尾崎)

☆☆☆☆☆ information ☆☆☆☆☆

●図書館車両がやって来た！デザイン表彰式&お披露目式

1月18日(日) 14:00～ さよう文化情報センター
車両見学会あり15:00～16:00(見学自由)

●冬の読書会

『グレート・ギャツビー』 スコット・フィッツジェラルド/著(中央公論新社)を
読んで語りあいましょ

1月31日(土) 10:30～ 会議室1 対象：一般先着10名(要申込、無料)

●さよう今昔写真展 in 支所 9:00～17:00 / 上月・三日月は支所エントランス、南光は文化センター
図書館で開催した写真展の写真を地域ごとに各支所で再展示します

上月 2月12日(木)～ ・南光 2月13日(金)～ ・三日月 3月4日(水)～

≪R7年度播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業≫

●ちしきの本の星めぐりマップ 配布中 対象:4さい～

●夢枕獏講演会

3月7日(土) 13:30～ さよう文化情報センター ホール
定員:450名(要申込・入場無料) サイン会あり

講演会申込



おはなし会

★あそばせ隊 おはなし会

- ・幼児・小学生と保護者
- ・毎週土曜日/14:00～14:30

★えほんの会

- ・2～4歳と保護者
- ・毎週日曜日/10:30～11:00
- 1月のえほん 『おもちゃ』など

★おはなし会

- ・5歳～小学生
- ・毎週日曜日/11:00～11:30
- 1月のおはなし
「馬方やまんば」

※いずれも図書館おはなしコーナー
申し込み不要